



年祭活動仕上げの年
声掛けあつて一手一つに力強く歩もう

第664号

発行所

天理教静岡教務支庁
〒425-0013
焼津市岡当日1番地

TEL (054) 626-1333
FAX (054) 628-4615
Email:skyou@live.jp



教区情報ねっとQR



あけまして
おめでとう

ごさいます

昨年は、年祭活動二年目として、「全教一斉ひのきしんデー」、「全教一斉デー」、二回目、三回目の「ようぼく一斉活動日」、またこどもおぢばがえりでは、コロナ禍以来の担当行事を勇んでつとめさせて頂くなど、教区長先生には、「皆様方の真実のひのきしんのおかげで無事に務めさせていた

姿は全教一、素晴らし
い姿で、賑やかに大勢
で勤めさせていただき
感謝した次第でありま
す」と挨拶されました。
さあ、いよいよ年祭
活動仕上げの年を迎え
ました。
真柱様は秋季大祭で
「道の子が一手一つに
なつて力強く歩むまで
には、もつとたくさん
のようぼくが、年祭に
心を向け、年祭へ向か
つての動きに取り組むよ
うに働きかける丹精を
続けなければ、教祖に
安心しては頂けないと
思います」と仰せ下さ
いました。

まで皆様方と共々に力
を合わせて盛り上げて
きた地域活動に、まだ
輪の中に入っていない
ようぼく信者の方々に
一人でも多く加わって
いただけるよう声掛け
をさせて頂きましょう。
そして論達に込められ
た「世界だすけの歩み
を一手一つに力強く推
し進め、御存命でお働
き下さる教祖に、ご安
心頂き、お喜びいただ
きたい」との親の思い
に応えさせて頂けるよ
う、一手一つに力強く
歩ませていただきまし
ょう。
立教百八十八年元旦
静岡教区報編集部

謹賀新年
教区長
主事

支部長

- 東伊豆 長澤三郎
- 伊豆 山本真司
- 駿豆 田淵保明
- 富士 佐野康弘
- 東駿 山梨正治
- 中駿東 梅田 聡
- 中駿西 木下雅利
- 西駿 杉岡信宏
- 中遠 太田文慶
- 西遠 杉本和弘
- 北遠 塩崎道夫
- 書記 守屋真和
- 教区役職員一同 芹澤広和

教区全体会議を開催 〜令和七年度予算を可決〜



十一月三十日午後一時より、教務支庁にて

全体会議が各部各会の責任者、支部長、地方委員を対象に行われた。議事は芹澤常太郎教区長室長司会のもと進められ、親神様、教祖、祖霊様礼拝に続いて挨拶に立たれた鈴木道輝教区長は、冒頭、本年夏のこどもおちばがえりに、静岡教区としてコロナ禍以来、久しぶりに行事を担当させて頂いたが、以前と行事会場も変わり、新たにお茶所を一か所担当させて頂くことにもなったが、教区管内の真実のひのきしんのお陰で、

大勢で賑やかに、一手一つに勇んでつとめることが出来たことへの感謝を述べられ、おちばより正式に来年も行事を担当してもらいたいとの依頼が来たので、どうか来年も皆様方のご協力をお願いしたいと述べられた。

ついで、最近行われた兵庫県知事選挙や、池袋での高齢運転者による暴走事故被害家族への誹謗中傷事件、オーストラリアで、十六歳以下の子供は、「TikTok、TikTok」などのSNSを使わせない法案が可決としたことなど、メディアの使い方が最近問題となっているが、こうしたものも親神様がお与え下さった「道具」であり、これを使いながら使うのか、使う側の心にはやはり第一に問題がある。これを誹謗中傷の道具として

使うのではなく、便利な部分、上手に使ったら本当に役に立つ。伊豆支部のある会長

さんの話では、本年の「全教一斉にをいがけデー」で、毎年行っている伊豆支部管内十四駅での路傍講演に、「教区・支部情報ねつと」に掲載された場所と時間を見て、いつもの倍の人数が集まって勇んで活動できた。その直近の「ようぼく一斉活動日」で、参加者にこれからも支部の活動に参加できるように、スマートフォンを用いて「教区・支部情報ねつと」の検索の仕方を指導。これが功を奏し、支部内に所属教会のない教友がそれぞれ調べて駆け付け、倍の参加者と勇んだ実動の姿を御守護頂いた。現在、ようぼくが地域活動の機会を知る手段は「教区・支部情報ねつと」だけ。おちばが力を入れてこの活動にもっと力を入れていきたい。

現在、年祭に向けて全五回にわたる「ようぼく一斉活動日」も回を三回重ね、だんだんと充実してきている。ただ参加者がだんだんと減ってきていることは残念。「ようぼく一斉活動日」の目的は一人でも多くのようにぼくの方が年祭活動に参加してもらうこと。あと二回、一手一つに取り組ませて頂きたいと挨拶された。

続いて教区長を議長となつて令和七年度の教務支庁予算審議が進められた。まず会計室長の永井磨主事より令和六年度予算が発表、説明の後、質疑応答と採決が行われ、地方委員の全会一致で可決された。この後、各部、各会より活動報告、また行事への協力のお願いがなされた。最後に、親神様、教祖、祖霊様を礼拝して閉会した。

第五十一回全教野球大会に山名チームが出場

教会・地域活動における野球を通してのいをいがけ、育成を目的とした第五十一回全教野球大会が、十一月二十九日〜十二月一日の三日間、おちば白川グランドで開催され、各教区代表など全二十六チームが参加、静岡教区からは山名大教会が出場しました。

大雨の中、行われた開会式の後、雨が止むのを見計らって、水浸しのグラウンド整備を開始、スポンジとバケツで水溜まりを取り除く者、新たな土を運んでくる者、テント設置する者など、皆々が一手一つにひのきしんに励み、当初予定より一時間遅れで第一試合を開始。本島大教会と対戦した山名大教会は、毎回の

教会・地域活動における野球を通してのいをいがけ、育成を目的とした第五十一回全教野球大会が、十一月二十九日〜十二月一日の三日間、おちば白川グランドで開催され、各教区代表など全二十六チームが参加、静岡教区からは山名大教会が出場しました。



ようにチャンスを作りながらも得点できず、一方、少ないチャンスを生かして得点を重ねた本島大教会に四対二で惜敗しました。今回のチームでは、中席者や別席未運びの方の初参加に該当する方をお誘いできなかったことから、来年の大会に向けて、にをいがけに邁進しようとして誓い、解散しました。

立教187年度 静岡教区少年会総会



立教一八七年度静岡教区少年会総会を、十一月三十日(土)教務支庁を会場に、教区長先生のご出席のもと、開催をさせて頂きました。当日は晴天に恵まれて、少年会員百八名、育成会員七十名の、想像していた以上のたくさんの方の参加者をお迎え頂くことができました。

総会のプログラムは、午前十時より団長を芯に親神様、教祖、祖霊様を礼拝し、その後、座りづとめ・よろづよ八首・十二下りのおつとめを神殿上段にて、十四交代でつとめさせて頂きました。

続く式典では、はじめの言葉から始まり、少年会長様のご告辞を教区長先生が代読され、引き続き、教区長先生よりご挨拶を頂きました。ご挨拶の後、過去に一回でもサマースクールに参加してくれた

中学三年生に、記念品が授与されました。続いて、「少年会のちかい」を唱和し、「少年会のうた」を斉唱をして、式典閉会となりました。

そして、午後は昼食をはさんで小休憩の後、育成会館で輪投げやダーツをはじめ、他いくつかのゲームを楽しんでもらい、その後神殿にて「大抽選会」をして盛り上がり、最後に団長の挨拶をもって、解散となりました。

この度、お陰様で少年会総会を、賑やかに結構につとめさせて頂くことができました。その中でも、コロナウイルスの影響を受けて以来五年ぶりに、十二下りのおつとめをつとめさせて頂くことができましたので、本当にありがたく感謝の気持ちでいっぱいです。これもひとえに、教区長先生をはじめ、教区につながる皆さんの皆様方のお力添えの

蔭だと思っております。誠にありがとうございます。今後も少年会の行事活動を通して、少年会のこども達の育成につとめていきたいと思っておりますので、ご理解とお力添えをお願いします。

静岡教区団团长
村田 孝浩



スケジュール	
11月30日	
12:30	受付・集合
13:00	ウォーミングアップ
13:45	開講式
その後	コマ① (自己紹介)
	コマ② (お言葉カルタ)
	夕食
	夕づとめ
	コマ③ (学生企画、脱出ゲーム)
	おやすみ行事、入浴、消灯
12月1日	
	起床・洗面
	朝づとめ
8:00	日課はじめ
	コマ④ (信仰劇、基調講演)
昼食後	記念建物を見学
	コマ⑤ (学生企画)
	閉講式、解散



R187 Work & Talk PLUS東海

十一月三十日、十二月一日、中河詰所を会場に開催された。夏の開催予定が台風の影響で中止となり、企画をした学生の「どうしてもやりたい」との熱意から、何度もオンライン会議を重ね、今回の開催となった。参加者は目標の五十人に達した。

テーマは「ひながたを味わおう！」互いの親睦を深めるのはもちろん、お道の行事らしく求道も忘れない。今回は逸話篇の「人がめどか」「危ないところを」「雪の日」の信仰劇を班ごとに割り振り、コマの中で配役を決め、劇中の小道具の



制作、セリフの練習、演出も学生自らが考え、それぞれ発表した。先人になりきった学生の演技からは「きつとこんな場面があったんだらう……」と逸話がとても身近に感じられ、新しい気付きもあって、信仰劇をやることで、テーマである「ひながたを味わう」ことができた。

その後は基調講演として本部准員・飯降信先生の講話を拝聴し、ひながたを辿るということについて分かりやすく教えて頂いた。

学生担当委員会より
親神様・教祖にお喜

び頂くには、教祖の仰つたことやひながた、教えを行動に移した先人の歩みに触れ、素直にマネ（ひながたを辿ること）をすることが大切だと思います。今回の行事を通して、きつと学生は教祖や先人を身近に感じてくれたと思います。信仰的に深

まるこういった機会がもつともつとあればいいなど、素直に感じたWork & Talkでした。是非近くにいる学生をこういった行事に、参加させてあげてほしいと思います。学生担当委員会は、そのお手伝いをさせていただきます。次の行事は「学生会

総会」、三月の「春の学生会おぢばがえり」です。先生方のお力を頂き、よりたくさんの方の参加の中で開催したいと思っております。これからもお力添えの程をお願い致します。

教区学生担当委員長
岡野多吉

中駿西支部災救援、能登半島被災地支援に出動

十一月十七日から十九日にかけて、能登半島地震及び豪雨災害被災地に中駿西支部災害救援ひのきしん隊（山田直哉隊長）は被災地支援活動のため五名（男子二名、女子二名）

が出動した。鹿島部内の實立分教会を宿营地とし、珠洲ひのきしんセンターのお世話取りをいただいたの出動となった。

十九日にはひのきしんセンター事務局で十人のへアカット支援を行い、また同事務局の賄いの手伝いと隊員一名がエアコンの設置を行うなどニーズに合わせた活動を行い、大変喜ばれた。



十七日、出動にあたり女子青年さんたちから、手作りのキンパ弁当（韓国風海苔巻きがメインの定番弁当）の差し入れを頂き、珠洲に向けて出発させていた。ひのきしん内容としては、十八日に珠洲市生涯学習センターにて百五十人分の食糧の炊き出しを行った。また美容師資格

の尚、中駿西支部としての能登半島被災地への派遣は、今回で三度目となるが、今後も継続して支援活動をしていきたいとしている。